

学科名	電気通信工学科							
科目名	計測工学							
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次後期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる。(A6,B1) ・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する。(A7,B2) ・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる。(A7,B2) ・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる。(A6,B1) ・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる。(B1) 							
日程と内容	1回 9/17 ガイダンス・単位 2回 9/26 小テスト①・測定器の内部抵抗と正弦波 3回 10/3 小テスト②・オシロスコープ 4回 10/15 小テスト③・オシロスコープ続き 5回 10/17 小テスト④・オシロスコープ調査課題・波形 6回 10/24 直流、交流、実効値 7回 10/31 小テスト⑤・DMM 8回 11/7 小テスト⑥・DMM続き 9回 11/14 小テスト⑦・DMM調査課題・オペアンプ 10回 11/21 小テスト⑨・オペアンプ続き 11回 11/28 小テスト⑩・発振器 12回 12/5 小テスト⑪・発振器続き 13回 12/12 小テスト⑫・総合演習①・発振器調査課題 14回 12/19 臨時試験 15回 1/16 総合演習② 16回 1/23 定期試験							
成績評価基準	定期試験	20%	実技	0%	臨時試験	10%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		
	演習	40%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる: 到達した ・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する: 到達した ・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる: 到達した ・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる: 到達した ・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる: 到達した 							
反省点	昨年度と比べて、今年度は合格率・平均点ともに低下した。ほぼ毎週小テストを実施したし、頻繁に演習も実施したが、結果に結びついていない。最初にオシロスコープをもって来たことは今年度の試みだったが、授業の流れは改善されたと思う。再履修生については、別途集中講義を設けることを計画している。							
来年度の計画	来年度も今年度と同様の運営をする予定であるが、再履修生については、別途集中講義を設ける予定である。							
授業評価アンケートに対するコメント	授業評価の総合評価は平均8.4点で昨年度と大差ない。また各項目についても3点台はなかったことは評価できる。今後もより充実した授業に取り組みたい。							
履修登録者数	69名	定期試験 受験者数	63名	合格者数	52名	合格率	83%	